

サクシオンボール・コアギュレーターの胃癌開腹手術への応用

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科 学部内講師

黒川 幸典 先生



【略 歴】 1997年3月 慶應義塾大学医学部 卒業
 1997年6月 大阪大学 第二外科 研修医
 1998年6月 国立大阪病院 外科 レジデント
 2003年9月 米国マイアミ大学肝臓消化器移植科
 2004年6月 大阪大学医学部附属病院 消化器外科 医員
 2005年4月 国立がんセンター ポストフェロー
 2007年9月 国立病院機構大阪医療センター 外科 医師
 2010年4月 大阪大学大学院 消化器外科 助教
 2013年4月 大阪大学大学院 消化器外科 学部内講師
 ご所属は2015年11月当時の情報です

【所属学会】 日本外科学会 認定医・専門医・指導医
 日本消化器外科学会 専門医・指導医・評議員
 日本内視鏡外科学会 技術認定医(胃)
 日本胃癌学会 評議員・会誌編集委員・
 企画広報委員
 JCOG 胃がんグループ代表委員・プロトコール審査委員
 GIST研究会 運営委員
 米国外科学会 正会員(FACS)
 Editorial Board of Gastric Cancer
 Editorial Board of World Journal of Gastroenterology

大阪大学次世代内視鏡治療学共同研究部門 特任教授

中島 清一 先生



【略 歴】 1992年3月 大阪大学医学部医学科 卒業
 1992年4月 大阪大学医学部附属病院 第一外科 医員(研修医)
 1993年1月 日本生命済生会附属 日生病院 外科 医員
 1999年3月 大阪大学大学院医学研究科 外科系専攻
 博士課程 修了(医学博士)
 1999年6月 大阪大学医学部附属病院 小児外科 医員
 2001年9月 米国Cornell大学 外科 主任研究員
 2002年3月 New York - Presbyterian病院
 低侵襲手術センター インストラクター
 2003年12月 大阪大学医学部附属病院 消化器外科 医員
 2004年9月 労働者健康福祉機構 大阪労災病院 外科 医長
 2004年10月 大阪大学大学院医学系研究科 臓器制御外科学 非常勤講師(兼任)
 2006年4月 大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学 助教
 2010年4月 大阪大学医学部医学科 講師(学部内)
 2012年7月 大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学 講師
 2012年10月 大阪大学次世代内視鏡治療学共同研究部門 特任教授
 ご所属は2015年11月当時の情報です

【所属学会】 日本外科学会 認定医・専門医・指導医
 日本消化器外科学会 評議員・専門医・指導医、
 消化器がん外科治療認定医
 日本内視鏡外科学会 評議員、技術認定医
 (消化器一般外科)、医工学連携委員
 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
 日本消化器病学会 専門医
 米国外科学会(ACS) 正会員(FACS)
 米国内視鏡外科学会(SAGES) 正会員
 欧州内視鏡外科学会(EAES) 正会員

■ はじめに

ドイツのERBE社が開発した電気メスVIOに備わる「ソフト凝固」モードは、周囲組織への熱損傷を最小限に抑えつつ確実な止血が得られる機能として、今や消化器外科領域の手術においては欠かせないものとなってきた。しかしながら、対象部位から血液や体液、洗浄に用いた水等を適切に除去できない場合、すなわち組織が過度にwetな状態にある場合は、従来の電気メスと同様その止血機能を最大限に得ることが

できない。ソフト凝固を効果的に行うには吸引をうまく併用することがカギとなるが、このたび、凝固と同時に吸引を行って組織をdryな状態に保ちつつ止血できるという画期的なツール「サクシオンボール・コアギュレーター」が、大阪大学とものづくり企業によって共同開発された。本稿では、その特徴と胃癌開腹手術における使用経験について紹介する。

